福島訪問報告会

- 1 メンバー
- 2 目的と成果
- ③ 日程
- 4 感想・気づき



メンバー



河上 雅夫

NPO法人 チェルノブイリ医療支援ネットワーク



川原 秀之

NPO法人 チェルノブイリ医療支援ネットワーク



内田 妃奈子 九州大学 4年



平江 莉子 近畿大学 3年



古賀 伊織 福岡大学 3年



芹田 博

せりたPR企画

目的と成果

①福島第一原子力発電所事故の現状を認識する

目的:現在も避難区域がある町・村を訪問

(富岡町・大熊町・双葉町・浪江町・飯舘村)

成果: 地元の方に案内されあた場所が未だに高線量

赤宇木地区(飯舘村と浪江町の境界)

浪江町大堀地区焼き物の郷「陶芸の杜おおほり」

5μSν

2μSν

目的と成果

②大学生の福島訪問

目的:福島の現状を知ってもらう



成果: •2021年~2023年まで6回福島を訪問

・大学生は延べ14名(実数8名)が参加

・訪問先は大学生の参加に喜んでいる。

課題:若い世代にどう福島の現状をつなげてもらうか

目的と成果

③写真撮影

目的: 撮影した写真で写真集を作る

成果: 蓄積している

課題:その都度整理をする



日程

請戸漁港・富岡漁港・ふたばいんふぉ・夜ノ森桜並木・双葉町役場・双葉駅西側地区公営住宅・ 復興庁浪江支所
獨協医科大学福島分室・いいたて村道の駅「までい館」・長泥地区・ 伊藤延由さん宅
おれたちの伝承館・「浪江町谷津田地区メガソーラー発電所」・「浪江町大堀相馬焼窯元」・(旧)双葉町役場
原子力災害考証館(いわき湯本温泉・古滝屋)
コラッセ福島(渡邊とみ子さん)・JTB・福島大学・福島県立医科大学
宝鏡寺(伝言館・未来館:楢葉町)

多考・人口と居住者数

	人口				居住者数		避難者		
	世帯数	男	女	合計	世帯数	合計	県内	県外	合計
浪江町	6,678	7,559	7,752	15,352	1,296	2,089			
	6,701	7,806	7,999	15,805	1,175	1,903			
双葉町							3,882	2,679	6,561
					帰還者		3,952	2,722	6,674
大熊町	3,993			10,006	233	1,092	7,743	2,264	10,007
	3,906			10,063		939	7,375	2,299	9,674
富岡町	5,689	6,034	5,594	11,628	1,580	2,217			
	5,665	6,134	5,737	11,871	1,430	2,026			
葛尾村				1,293	帰還者	462	755	46	801
	490	680	641	1,321	324	489	784	48	832
飯舘村	1,816	2,385	2,360	4,745					
	1,812	2,471	2,446	4,917					

* 2023年7月(上段)・2022年9月(下段) 広報誌より作成

• 原子力発電所事故があると長期間にわたり被害が生じる。

12年が経過した現在においても線量の高い場所がある。

帰還困難区域が解除できるには長期間の時間を要する。

チェルノブイリ原子力発電所事故では未だに30キロ圏内は

禁止区域になっている。

福島においても同様である。

 $0.23 \mu Sv/h = 1 mSv/y$

ベラルーシでは5 msV/y以上で強制移住 (2023年3月の報告会資料に掲載)

福岡県の近隣にも玄海原子力発電所があるため、よそごとではない

玄海原子力発電所

30キロ圏内:糸島市の一部区域

50キロ圏内:福岡市西区、早良区

そのことを踏まえてこれから福島訪問に際しては対応していくべき

- *糸島市での安定ヨウ素剤の配布について
 - ①事前説明会への参加が義務(年に1回) 医師の説明と診察が必要 (診察で安定ヨウ素剤が大丈夫か決定)
 - ②希望者のみコミュニティセンターで配布

・福岡市は...

福岡市防災情報を開く

https://www.city.fukuoka.lg.jp/bousai/index.html

知る・学ぶを開く

原子力防災を開く

原子力災害の備えを開く。(2021年4月)

https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/bousai/bousai/genshiryokusaigaihenosonae.html